

気になる発疹の出る病気

★ 溶連菌感染症

発疹以外に 38～39 度の発熱、のどの痛みやリンパ節の張れ、腹痛やおう吐、頭痛

抗菌薬を飲み始めて 24 時間以上経過し、医師から登園許可が出れば登園可能。

★ 手足口病

主に、手のひら、足の裏・口の中、時折おしりやひざにも小さな水泡ができる感染症。一度かかってもまた感染することがある。

発疹以外の症状は、熱は出ない場合が多いが、高熱が出ることもある。手足の発疹はあまり痛くならないが、口の中が痛くて食事が取れないことがある。

登園は医師の指示に従う。また、熱がなく、普段どおりの食事が取れること。

★ みずぼうそう

感染力がとても強く、免疫力が低下している子どもは重症化することがある。

発疹以外の症状は、熱は微熱程度のことが多い。

水泡がかさぶたになるまで登園停止。

★ とびひ（伝染性膿かしん）

すり傷や虫刺され、湿疹などの傷に菌が付き、水ぶくれができる。感染力が強く、水ぼうを掻き壊した場所をかくと、そこにまた水ぶくれができる。かゆみを伴い、熱がでることもある。登園は医師の指示にしたがう。患部をガーゼ等で覆う。

★ 水いぼ

肌の色に近いきのこ状の小さな発疹がだんだん大きくなっていき、中央がくぼんでつやつやしてくる。アトピー性皮膚炎などで肌のバリア機能が落ちていると、全身に広がることもある。かゆみが出たり、広範囲に広がる場合は要治療。プールの水で移ることはないが、タオル等の共有は避ける。

このほかにもエコーウイルスなどによる発疹もあります。自己判断せず、適切な診断を受け早めに処置を行うことをお勧めします。



暦の上ではすでに立秋を過ぎていますが、まだまだ残暑が残り、じめじめした日が続いています。湿度が高いと体力を消耗するだけでなく、十分な休息がとれなくなります。運動会の練習も本格的になり子どもたちも疲れから体調を崩しやすくなります。適度に冷房を使用し、十分な睡眠がとれるようにしましょう。

9月9日は救急の日

救急用品の点検を

- 滅菌ガーゼ
- 三角巾
- 包帯
- ばんそうこう
- 脱脂綿
- 綿棒
- はさみ
- 体温計
- とげ抜き
- ピンセット
- 熱冷まし用シート
- ポリ袋
- ポケットティッシュ
- 消毒薬、外傷用薬品 など

ご家庭に救急箱の用意はありますか？
いざというときにすぐ取り出せるよう、必要な物をそろえておくことで安心です。ときどきは中身をチェックして、期限の切れた薬品の入れ替えや、よく使う物の補充などをしておきましょう。



9月の乳幼児健康診査

8日(木) 1歳6ヶ月児健診

9日(金) 乳幼児健康診査

23日(金) 3歳6ヶ月児健診

26日(月) ことほの相談

29日(金) 赤ちゃん相談

詳しくは広報しずくいしで確認のうえお出かけください。

